

女性の司祭按手 20 周年感謝プログラムのご案内

「新しい歌を 主に向かってうたおう」



1998 年に女性の司祭按手がおこなわれてから 20 年、いま教会のミニストリーには多くの女性たちが参与しています。宣教に生きた先達女性の働きを記念し感謝するとともに、これからも一人ひとりが活かされ多様な働きをしていけるように、また私たちの教会がさらに豊かなパートナーシップへの道を歩んでいけるように、ともに祈り、交流しましょう！韓国からもゲストをお迎えする予定です。多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

2018 年 7 月

主催 女性の司祭按手 20 周年感謝プログラム実行委員会
協力 日本聖公会主教会

感謝プログラム ♪♪

2018 年 11 月 30 日（金）～12 月 1 日（土）

◆女性教役者リトリート

11/30（金）15：00～12/1（土）9：00

@ナザレ修女会

該当される方には後日別途ご案内をお送りします。

◆感謝礼拝（聖餐式）・交流会

12/1（土）11：00～15：00

@聖アンデレ教会（東京教区）

どなたでもご参加いただけます。

当日会費：1000 円（昼食・記念誌代）

・・・協力金のお願い(一口 500 円)・・・

このプログラムを行うために、女性教役者と韓国からのゲストの旅費の補助として約 100 万円を予算に計上しています。

ご支援、ご協力をいただけましたら幸いです。

送金先 記号番号 00120-0-78536

口座名義 日本聖公会（ニッポンセイコウカイ）

*通信欄に「女性司祭 20 年協力金」と記入してください。

*当日のご持参もお受けします。

〈問い合わせ先〉実行委員会 管区女性デスク 吉谷かおる

Email clairekaoru@gmail.com Tel 090-8060-3735

ご挨拶

日本聖公会 首座主教 北海道教区主教
ナタナエル 植松 誠

日本聖公会が女性にも司祭志願、司祭按手の道を開いてから 20 年。その間に、海外のいくつもの管区で、女性の主教も多く誕生している。そのような管区では、司祭であることが大事であって、敢えてそこで「ウーマン・プリースト」などという言葉を使うこともない。大きく変遷している社会の中、彼女たちによって行われている実に多彩な宣教や牧会が、男性の司祭たちの協働によって豊かな実りをもたらしているのを見ると、そこに聖霊の息吹を感じるのである。